

## 会議結果報告書

以下のとおり会議を開催しましたので、その結果を報告いたします。

件 名	令和6年度 南島原市まち・ひと・しごと創生検討会議（第1回）											
日 時	令和6年7月23日（火）午前10時00分から午後12時10分まで											
場 所	西有家庁舎3階大会議室											
出席者	委 員	11名										
	市・事務局	財政課長、政策班長、財政課担当、DX推進班長										
欠席委員	4名											
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開 会</li> <li>2 委嘱状交付</li> <li>3 市長挨拶</li> <li>4 会長挨拶（副市長）</li> <li>5 概要説明（組織、会議等）</li> <li>6 議 事             <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）南島原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策の効果検証について                 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 評価指標等の実績（資料1）</li> </ul> </li> <li>（2）地方創生交付金事業の効果検証について                 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 交付金事業の取組実績と今後の方針（資料2、3）</li> <li>- 道整備交付金事業の中間取組実績と今後の方針（資料4）</li> <li>- 道整備交付金の概要と本市道整備交付金について（資料4補足）</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>7 閉 会</li> </ol>											
会議資料	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">資料1</td> <td>総合戦略評価指標（目標）一覧（令和5年度実績調査）</td> </tr> <tr> <td>資料2</td> <td>地方創生交付金事業実施調書（令和5年度事業）</td> </tr> <tr> <td>資料3</td> <td>地方創生交付金事業実績一覧</td> </tr> <tr> <td>資料4</td> <td>地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調書</td> </tr> <tr> <td>資料4補足</td> <td>地方創生道整備交付金の概要と本市道整備交付金について</td> </tr> </table>		資料1	総合戦略評価指標（目標）一覧（令和5年度実績調査）	資料2	地方創生交付金事業実施調書（令和5年度事業）	資料3	地方創生交付金事業実績一覧	資料4	地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調書	資料4補足	地方創生道整備交付金の概要と本市道整備交付金について
資料1	総合戦略評価指標（目標）一覧（令和5年度実績調査）											
資料2	地方創生交付金事業実施調書（令和5年度事業）											
資料3	地方創生交付金事業実績一覧											
資料4	地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調書											
資料4補足	地方創生道整備交付金の概要と本市道整備交付金について											
協議結果等	次頁以降記載のとおり											

議事（１）南島原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策の効果検証について  
 ー 総合戦略施策の評価指標等の実績報告

- 総合戦略に基づく施策及び総合戦略全体の効果検証にあたり、施策の成果等について各委員に意見聴取するため、資料１の内容を説明した。  
 資料１ 総合戦略に記載している評価指標（基本目標、重点業績評価指標）について、目標と実績（達成状況）を一覧としてまとめた。
- 資料や説明を踏まえ、各委員から意見聴取をした。

発言者	発言内容
委員	地場産業の1-1の新規就農者数について、市からの補助や技術支援は、具体的にどのようなものがあるか。
事務局	新規就農や農業後継者支援については、認定新規就農者制度を策定している。
委員	新規就農者の売り上げが出るまで、市からの支援を検討いただけないか。
会長	新規就農者の支援については、認定農業者の団体を中心におこなっている。本市においては、認定農業者の数が少しずつ減ってきており、後継者不足が課題となっている。
委員	外国人観光客が多いが、観光消費額や観光客数に反映されていない。外国人の観光消費を遡及する政策をご検討いただければと思う。
会長	本市の課題として、消費する場所（ホテル等）が少ないことがあり、施設の整備が必要だと認識している。
委員	令和5年度において、アニメ等とコラボを行ったが、アニメコンテンツを目的に来た人を喜ばせる場所が少ないと考えている。コンテンツを活かす受け皿を作ることで若者が南島原市をターゲットに目撃して来ることにつながると思う。また、日本人観光客の取り込みも行ってほしい。
会長	邪神ちゃんの放映をきっかけにリピーターの方は非常に増えている。また、島鉄に協力いただき、ガイドツアー等も実施している。
委員	評価指標の推移を見ると企業誘致数が0と続いているため、やる意味があったのかと疑問に思っているが、どのように事業を進めていったのかお聞かせ願いたい。
会長	サテライトオフィスが完成したら立地をしたいという企業について、当初、民間の方が事業を立ち上げていた時は5社あった。この事業が頓挫したため、今後新たな事業者の方と相談していくことになると思う。
委員	移住者数について年齢構成や性別構成を教えてください。
会長	統計データは手元にないが、若い人から高齢者まで幅広く入ってきている。
委員	南島原市において、初任給420万をクリアしている企業がいくつあるか。
会長	専業農家で年収420万を超えている方は一定数いるかと思う。統計

	データとして取得できるかを今後確認してみる。
委員	創業促進補助金利用件数について、年間どれくらいの方が創業し、補助金を利用しているか。
事務局	30代から40代の製菓や理髪関係で創業しようとしている方がいた。20代については、自宅の家業を受け継いで事業規模の拡大を図る方も何人かいたが、そこまで多くはない。
委員	人材育成事業補助金活用については、若い世代の起業にも目を向けてほしい。長崎県がスタートアップ事業を行っているため、南島原市も乗っかるといいのではないか。
会長	若者が定着するような企業が立地してくれれば一番いい。若者にニーズのあるIT企業誘致の働きかけを行っているがなかなかうまくいかない。ミナサポで、若い人たちを本市に誘致してくれる形ができればありがたい。
委員	アントレプレナーシップ教育（職業について調べたり、起業を体験したりする教育）は、これから小中学校レベルからやっていかないとはいけないと思っている。南島原のふるさと教育や環境教育の中で地域資源を活かした起業について、市内の県立高校と連携することが必要になると思う。
会長	起業だけではなく、市の政策も若者の考えや発想を大事にすることが必要である。翔南高校等には、本市の職員が出向いてふるさと教育を行っているため、今後も続けたい。

議事（２）地方創生交付金事業の効果検証について

－ 交付金事業の取組実績と今後の方針（交付金事業の効果検証）

●令和５年度の地方創生交付金事業の効果検証にあたり、事業の内容や成果等について各委員に意見聴取するため、資料２の内容を説明した。

また、地方創生交付金事業について、令和２年度からの事業費と交付金額の推移が効果検証において必要なため、資料３を用いて説明した。

資料２ 令和５年度地方創生推進交付金を活用した７事業、地方創生拠点整備交付金を活用した１事業、デジタル実装タイプを活用した３事業について、事業内容や取組実績、今後の方針等をまとめた。

資料３ 令和２年度（前総合戦略の開始年度）から地方創生関係交付金を活用した事業（事業費、交付額）を一覧としてまとめた。

●資料や説明を踏まえ、各委員から意見聴取をした。

発言者	発言内容
委員	事業番号３の「地域課題を地域力、外部人材、デジタル技術で解決する関わり、ひと、事業創出プロジェクト」について、アプローチがあった事業者の情報を可能な限り開示してほしい。
事務局	実際に補助金を利用していないため検討会議内で事業所名を出せないという所管課の意向があった。
委員	補助金のハードルが高いという意味なのかニーズが合わなかったのか、地域の人と相談しながら取り組んでほしい。
事務局	チャレンジ事業補助金の利用拡充について、所管課へ話をつないでおく。
委員	事業番号４の「まちの変化を力にした地域内外の交流拡大・地域の賑わい創出プロジェクト」について、自転車の貸出数が多いが経済効果や観光客誘致につながったのか。
会長	令和５年度の観光消費額は４０億９２００万で、前年に比べたらコロナの影響が無くなっており、少しずつ観光客数も戻りつつある。
委員	事業番号２の「地方回帰と産業構造の変化を捉えた大規模人材還流プロジェクト」について、新規漁業就業者がいるが、年齢や仕事について把握しているか。
会長	おそらく養殖業をされている方で、若い方だと思う。養殖業をするために、南島原市に県外から来ていると思う。
委員	新幹線の開業前と開業後について、観光客の推移を把握しているか。
会長	私どもも手に入れたい資料である。私たちのところに新幹線の効果が届いているのか把握できていない。振興局では把握できているか。
委員	データについて具体的に県の方から示されている資料はない。島原の方に少し増えているという話は聞くが、今後諫早駅などで動向を聞くのも良いかと思う。島原半島三市においては新幹線の効果をあまり感じていないことが振興局の肌感としてある。

委員	事業番号6の「地域の農業資源を生かしたハイレベル人材創出型果樹振興プロジェクト」について、研修終了後の就業支援や事業継承などを含めた施策検討が必要だと思うが改善される傾向はあるのか。
会長	研修終了後の支援については、国や県、市を含めて、農林サイドで助言をしていると思う。
委員	事業番号9の「キャッシュレス決済」システムの構築事業について、MINA コインが使える電子マップの提示で利用促進が図れるのではないかと。
事務局	今後、民間企業の支払いについて、普及を拡げていきたいと考えている。
委員	事業番号10の「電子地図システム構築事業」について、防災や観光分野で活用してほしい。観光については観光協会や民泊との連携、防災については、生徒がふるさと学習で活用しているため、市民の意見を汲み取ってほしい。
事務局	移住を検討している方が市のホームページから地図情報を瞬時に確認できるようなシステムを作りたいと思う。防災については、ハザードマップを用いて、防火水槽や消火栓の位置を確認できる地図になっている。
委員	観光客向けの電子地図についても、柔軟性を持った対応をお願いしたい。
事務局	外向けに発信するものと中の業務の効率化の部分とを上手く連携した形で進めたい。
委員	MINA コインについて、QRコードを読み取るだけで決済ができるシステムの構築は難しいのか。
事務局	商工観光課と連携して行いたい。
委員	事業番号4の「まちの変化を力にした地域内外の交流拡大・地域の賑わい創出プロジェクト」について、廃線跡地として昔の風景を想起できるように、駅名看板・過去の写真の設置などの取り組みができないか。
会長	旧駅舎が残っている場所は、駅名の表示を行う。他にできることを検討したい。
委員	昔の写真や景観を想起できる工夫が必要。QRコードにスマホをかざし、ネットで説明書きが出る工夫も面白いのではないかと。
委員	事業番号5の「若者に選ばれる畜産産地の実現で地域を活性化するプロジェクト」について、KPI（実績）と事業（目的）がどのように結びついているか。

事務局	畜産業で若者を定着させるには、所得向上が必要になっている。市の事業は、畜産物を出荷する際に、市場価格が低い時に出さないといけない農家に対して、価格が上昇するまでのコストを市が助成することで、高い時を選べる環境を作っている。そのため、必然的に農家の所得向上につながり、後継者対策になっている。その成果として、市に若者が定着すると良い。
委員	世界遺産センターと自転車歩行者専用道路の供用開始に向けて、振興局としても何かできればと考えている。
会長	世界遺産センター事業については、イコモスの回答を待っている。自転車歩行者専用道路や他の施設と連携を行いたい。今後、イベント等も考えたい。
委員	自転車歩行者専用道路について、QRコードを生成し、ウェブサイトを作るのは、ミナサポを用いて教育という立場から行ったら良いと思う。
事務局	自転車歩行者専用道路のイベントについては、電動キックボードの実証実験を今年度行う予定である。9月から10月に深江で商工観光課とイベントの準備を行っている。
委員	事業番号5の「若者に選ばれる畜産産地の実現で地域を活性化するプロジェクト」について、価格を選べるということだが、繁殖は難しいことが多く、後継者不足が深刻である。10年後は現在の畜産農家がいなくなると思う。また、ウクライナ問題や物価高騰で飼料の価格が上昇し、厳しい状況である。若者に新たに畜産業へ就労して貰うには、既存の補助金以外に、生活費や開業費の支援も必要ではないか。そういう面では南島原市はかなり厳しいと思う。
会長	畜産業だけではなく農業全体が高齢化している状況にある。本市の農業の今後について、抜本的に考える必要がある。

#### 地方創生交付金事業の効果検証結果

各事業の事業効果・今後の方向性は、所管課の評価・意向のとおりとする。

## 議事（２）地方創生交付金事業の効果検証について

### － 道整備交付金事業の中間取組実績と今後の方針

- 道整備交付金の中間年度における効果検証にあたり、施策の成果等について各委員に意見聴取するため、資料４と資料４の内容を説明した。  
資料４ 地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）について、目標と実績（達成状況）、事業の進捗状況等を一覧としてまとめた。  
資料４補足 地方創生道整備交付金の概要と本市における道整備交付金の事業について、資料４を補足する意味で作成した。
- 資料や説明を踏まえ、各委員から意見聴取をした。

発言者	発言内容
委員	レンタサイクル利用台数について、電動キックボードも含めそれ以外の指標があるのか。
会長	地域再生計画を作成した当初にKPIを設定しているため変更ができないものとなっている。
委員	自転車歩行者専用道路について、獣害駆除と防犯対策をお願いしたい。
会長	イノシシの対応と防犯対策について、調整を行いたい。

## 地方創生道整備交付金事業中間年度の効果検証について

地方創生道整備交付金については、中間評価調書に示した内容で報告する。

## その他

発言者	発言内容
委員	観光関係について、インバウンド観光客の誘客のためにオルレを復活させてほしい。

## 閉会